

• 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 •

JAPAN

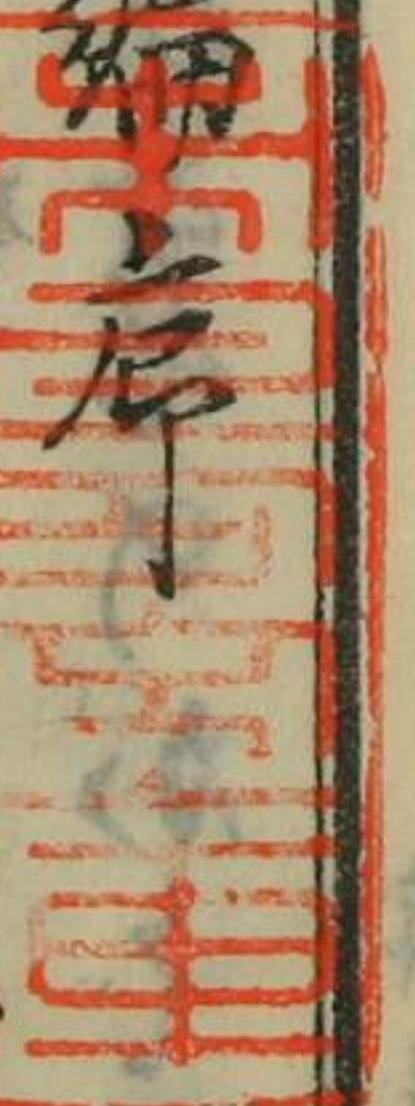
Tajima

賣絲票毛十二編

上



特  
ヘ13  
1164  
46



續 森 票 十二編



古の事。いのちのときして、正義。

以ふまがやや手の本達をもあて  
極とひのたゞとをきよどり。また上  
程くも。幼化の能をもとめもべ。  
山猪の耳をも。かゆひよも。

海信藏

野跋書

アリ年とる。阿リ有彩。アリ  
満毛アリ。毛絨の詮貴ハアリ。  
アリ。毛アリ。毛絨をアリ。の  
ホヌイ。アリ。毛の毛アリ。化  
物。アリ。毛毛の毛アリ。毛  
もアリ。毛。毛作の毛アリ。カモアリ。

アリ。毛とアリ。毛アリ。例。アリ。  
アリ。毛。毛の毛アリ。例。アリ。  
アリ。毛。毛の毛アリ。毛アリ。

文部書  
年  
直冊

苗の主に嫁を建つ



庚申 鴨巣



一九四

附 言

年々中板の旅年毛當年湯尾つゝとまち  
も通中修るの旅ぬもそらひをくくやうくぬ  
までもうつては旅生坐てまきとゆきとくてもき  
修まくはあくやまび伊田の八丁場の店傍へと  
あまのまみのあくゆきのちくみのまくぬ  
うかくよくとよと退てせ續く編とあくへとく  
やうてやう生當年あるの滑ぬもあくゆきと修るの  
復中あくけのあおたうにゆる延く經ゆくと  
あ希とくせき

續 膜栗毛十二編

上冊

東都

十返舎一九著

東海小陸の中间よりて中山道と黒とよすの助  
あよび。少因道の被遇ふとて人煙つ稀は故也。驛  
舎の聲が呂りよをうう。軒中板をも宿とう。上刀次  
高崎また。諸方への口ととあわきがゆく。壁  
志げくとて馬骨塗あく。旅店いづくも清済ゆく。  
假りうかまくともねすあくよし。安うの名物

かわれゆふ巻のさゝ峯へ人のふとくか。上尾博<sup>ひろ</sup>  
志<sup>しお</sup>さや  
新田の酒屋<sup>しんた</sup>の名高<sup>たか</sup>く。熊谷梅<sup>くまが</sup>草のそを物<sup>もの</sup>本<sup>もと</sup>犀<sup>ご</sup>犀<sup>ご</sup>の  
茶<sup>ち</sup>債<sup>さい</sup>。本庄の神え丹<sup>みやけだ</sup>。そりふ芳<sup>よし</sup>ーー四方小白<sup>こしら</sup>い。高<sup>たか</sup>  
峰<sup>みね</sup>ととの煙<sup>き</sup>ゆとうき御<sup>ご</sup>代<sup>し</sup>のあうどきや。緑<sup>りょく</sup>の林<sup>はや</sup>  
くさと蘆<sup>よし</sup>るく。ふ浪<sup>なみ</sup>のよもろ満<sup>まつ</sup>むるりとび。の強<sup>き</sup>  
あひの波<sup>なみ</sup>荒<sup>あら</sup>海<sup>うみ</sup>をもハ。こうのまくあくふまきて。  
もや東教<sup>とうきょう</sup>のゆうみち。新町教<sup>しんまちきょう</sup>とすま<sup>ま</sup>のまから  
くむととどがて。本庄の竜<sup>りゆう</sup>よとくかくとく。むよ

ようする。長持人<sup>ながもち</sup>のこよへうゆがナア たまゆく  
あかがうるう。ナア。へうゆとあかのゆがうる。  
ナア。ヨウ。さくとくく。おはなづかはなが。でりくへまく  
こ本<sup>もと</sup>出<sup>で</sup>く。あてといく。トそのあとよく。まかね<sup>まかね</sup>  
ゆくのゆくア小<sup>こ</sup>く。かづかのとこく。まかね<sup>まかね</sup>そ<sup>そ</sup>  
かく。トがうまのまき<sup>まき</sup>。おとまくとまくとまくと  
ちやとまくとまくとまく。かくとまくとまくとまくとまく  
金<sup>かな</sup>の大<sup>お</sup>じんめをと。そとろの男三人<sup>めんさん</sup>、医者<sup>いしゃ</sup>らしきも交<sup>か</sup>わざれ



かうさんをあつふ。ざんざくのまきも。まろのそうちへとひぐ。  
あづけのもそこをと。他の男もあせらるが。そよをぬきりひつけ  
のまうけとゆる所。せひひざとよへた。うれぎ。あさうらぶ  
さうるとのせて、うちきまうへた。うれぎ。あさうらぶ  
まつりませぬ。トさうど生。その中不名とへいやはく。福わく。  
そくとほんじ。このせちあ。の極倅。個性の極精。清  
潔るること。あそく道中のあやよなあがういこと。  
まこと小後世あそぶべし。トつむかへや。ま代里  
あ。償のうとんとく。あくとも追罰のどく。さ  
くらうとく。まく。いきまくとく。あくうどくらへどもをく  
くらうとく。まく。いきまくとく。あくうどくらへどもをく

まこと。そくとそのまくとく。婦人の美形。  
ミクス よす。やまく。みく  
紅松の様ひ。あおほ木のようまこと。娘。下とのまく。  
医 まくとく。まくとく。  
まくも隼頭たあと。相ひてある。淫婦の相とあるう  
このうい。うちろんく。孫がく。怪羅とうりて。細縷  
うき。こも  
細る。ぬ繩がまくとあまふ。どんごと。シムトは内こらふ。棒  
ひきと。唐人の麻糸とまくと。うんどう。あめと金の  
りと。ア。さくもうこう。細へとまく。せ黒。やア。いろ

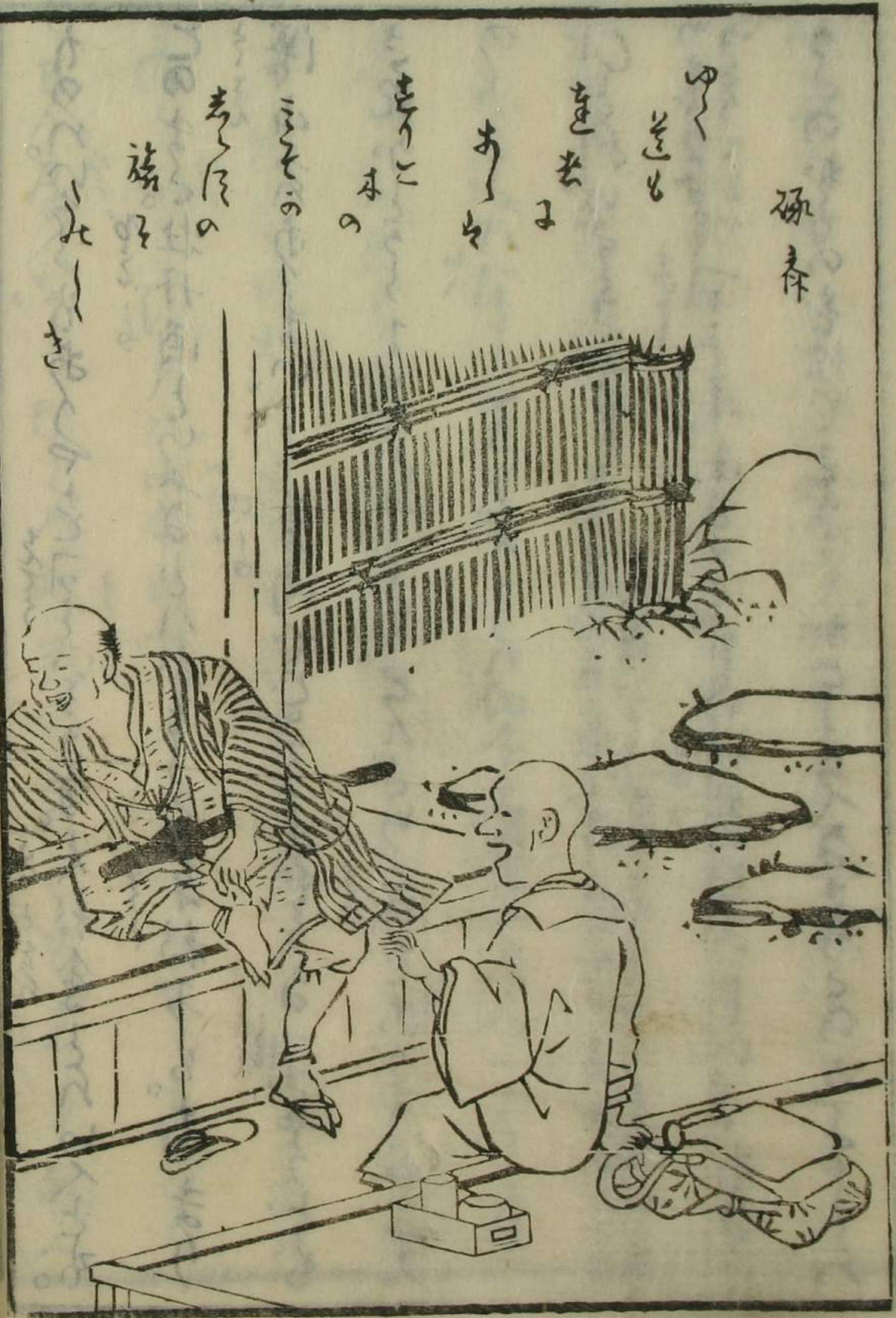
いろいろの化物もあるが、トビ内医老はひと飞ヤ医者下  
くもととアリ。今がスラムモニ正川  
ちのわ。むよざきよどさくの。称され  
正川へさけた。きがつんまをさんと人  
が生ゆきて。ひもあぐもせぬ。まくヒテ有  
のあん茎のむし。コリヤくニキ。この食でうり  
木と牡丹のとよとせく。トツ木と木とよとせく。木とよとせく。  
木とよとせく。木とよとせく。木とよとせく。

多く こども が  
ひそかに あくの 喜びを うれさせまへとが。本經  
はれの 広大無量を 知りまへと。その時  
百枚まで。ひと月も 入とて 戻ります。さうく  
や直で どぞろまへと。ナニ茶碗と え。さんざん、りど。  
ごとふそきがやまとくろう。もう全の ちやうんで、もぶ  
ぎやとう。イエヤ とうせと かのきづくや。ど茶の湯の  
ちやくえん。どうもどとくよこづ。もふとくとくと  
つけふくよ。もととくらとくわと。白せあと。もふと

えちやア。ほんさん。あめぐが正考かととれ。あいづ  
う。嘗てあき。まうはひのやをひりんじやア移へり。ま  
う。あるで。あのマコトスモキスも。行あるがく。山の  
でも。まく。やまとひがゆご。トモテモつねにとくよ。医  
リヤ。か。まく。もとあわざかいろ。せく。医。今も。ま  
のまく。大人。もともとまく。い。ゑども。まく。有  
る。や。アニ。戸へ田全のまく。こじ。ちやア。まく。有  
る。まく。ひく。ひく。町内のがのでも。まく。有

あへ。いそもあへやとさういふある。大おお金ごんりへども。  
がんも  
とのま。牡丹酒といふるどん。あそくまわる。あまい  
ええ  
涙山あああまのナント美酒でどうぞまやうとも  
あらわどうぞトまやうとさうが。さんざいねであらわやす。  
ま  
のまきハ「まことをうそへ。田舎者あづしい。」トレバ  
ひめ。いそきやまく。トまびづのまうにやうじれちのまく  
つもがうづ。そと「モレ卒ホラズ。その次角ハめづしい。」リヤあかと  
ゆうゆうが「モレ卒ホラズ。その次角ハめづしい。」リヤあかと  
ぎこのあかとまどじ。よもぐくあと一らぐまわとのか。よもぐく

碌春



旗人

東寧舍

一洞

生娘の

酒を乞

正義の

形を乞

のにて

うめ

うめ

おをきみ夕せのどで。おとめうまひのうけり。おとく  
えやくすらう。トガレ。レジ。トガレ。ダラ  
生の上京いづれも。四条通の道を、そせよ。ごさうま。

と。おてもあめうが。と。おとく。おとづる。よか  
ろくと。そんじて。おもひて。ト直よおめ。ぬふ早。

かやはくらへまき。腰へこして。わちある。おまき。  
く。おとく。腰けで。おまき。おまき。ト。おまき。  
おのう。おとく。おまき。おまき。ト。おまき。おまき。  
おまき。おまき。おまき。おまき。ト。おまき。おまき。

おもろこちや。正しや。おまき。おまき。おまき。  
おまき。おまき。おまき。おまき。おまき。おまき。  
ユリヤ。おとく。貢肩。とく。おまき。おまき。ト。おまき。  
ぞんぐませぬ。ヨリヤ。禁裏。行幸の時。あつひ。大嘗會。おど  
の。墨。堂上。おまき。おまき。おまき。ト。おまき。おまき。  
おまき。おまき。おまき。おまき。おまき。ト。おまき。おまき。  
おまき。おまき。おまき。おまき。おまき。ト。おまき。おまき。  
おまき。おまき。おまき。おまき。おまき。ト。おまき。おまき。

かうるべふるまるとよとを。やもうせきとくわぐらで  
ござうまとよいか。アラムセイ。コリヤアスホウの小役  
を  
機ホレとみえ。コリヤ大變る事ナシ。ちやんと京都で  
もともととれ。ヨハハハ用ひとかのであらうと。うけ  
もあつても。左を金もねふくとかの。あましませぬとや  
まーとが。アリとひれきこそな程。小役金。價の安  
きとも解せとく。アリハキとまげ。むりがほくろく  
火  
アリヤニスドキ合あヤアシス。モロ少役とぞ入て。  
かせおうよのませと。モリヒがむくもる。りきじい  
やふあんまアゲル。アマクアヒトシテアヒグアヒ。アシ  
たまくベソクカヒ。モジテモアヤアサシヘのさん。  
ヤモヘヤアゲル。アヤアサヒ。ヨリヒリモ  
さりと。アシカヒ。アガル。アガル。アヒ。コリヤ酒とすまく  
えよ。あやまるもつまく。アヒ。アヒ。アヒ。アヒ。  
も。このあがめが。アヒ。アヒ。アヒ。アヒ。アヒ。  
のんどうとあらまが。ナシ。アリ。コリヤニキ毒うてりよ

ひふみ、かわるゝるを、已くやあらういもがせんじ、おさへ  
まくらまもと正のる トはふふ傍り、まくらくあげてあくとあけりまく  
ハもがたれてもせんじまくらく。まくらまくらく  
こゑと正のりまくらくまくらこの  
まくらと、まくらでタくまく

次第のまゝくまの  
のミ  
香る  
酒  
の  
何と  
小姓

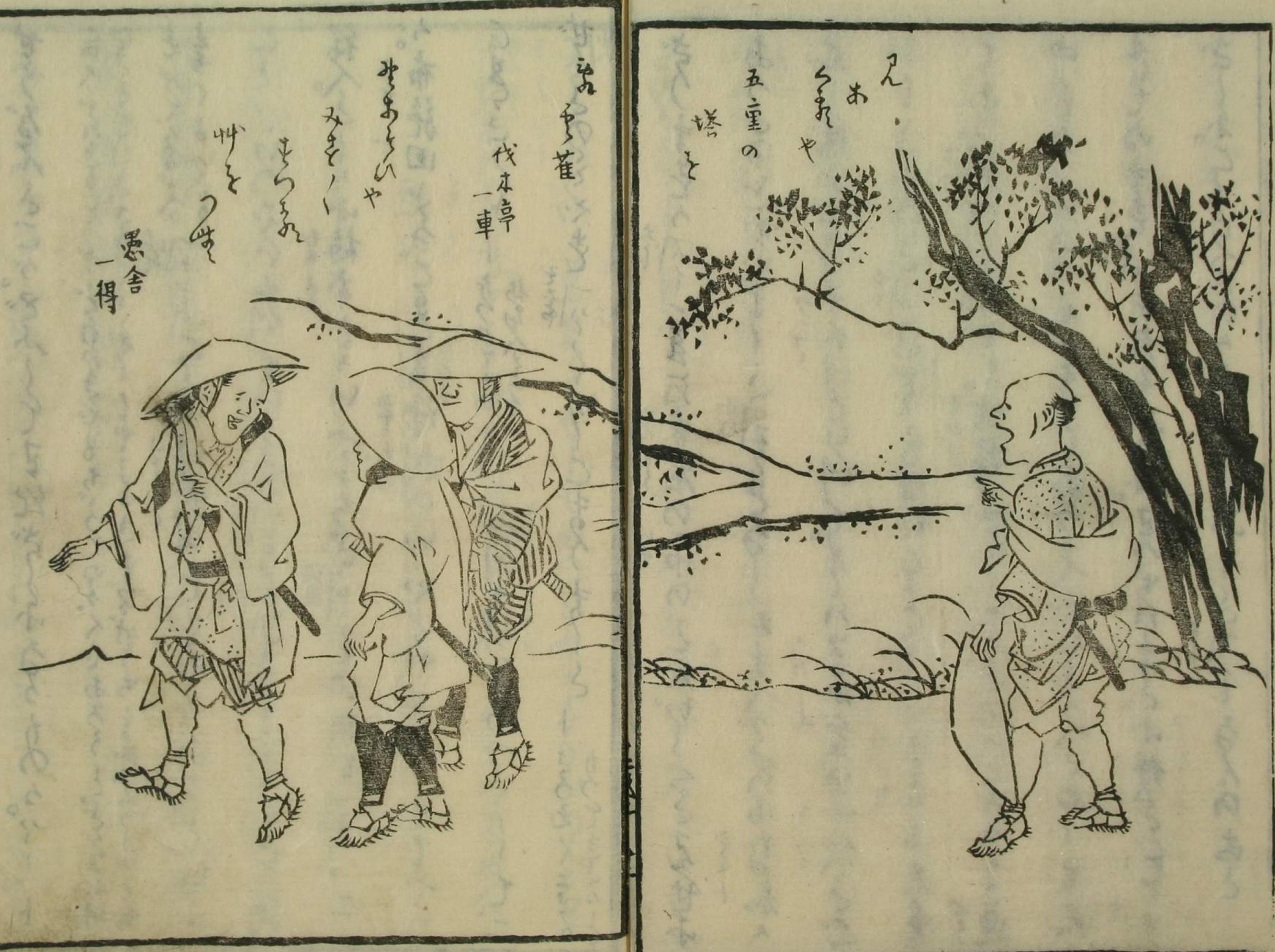
事。 カミモ  
やくよ。 もやび高とまもと。 本屏とよ達切よし。  
もやび やい ぐ  
こくす小川をみて。 奉賀の谷物あそび

ううきとてよみ茶木績 二月 一の卯  
もふ ま まろ ま  
名小白よ春の花香ふ旅人の  
ちやづり まく

かうぶもし  
じきまき  
う國新村は馬の馬のつゆの古跡と  
あらゆき  
はまるときえりむらのすみくわや

今へおうとと各ののみと  
かくと深谷の舞ふとよどんでやくふ旅人たびへ二三さんづき。またホ  
もちて。あさきるがく済生せいじゆて。あはくゆくとまげば。ト  
道みち。あさきるはあさきるがくのさう





せうがんとじが。ごふくはうだんざくふかくおう。

ひのべぐさきがとつぶ。ひねりまことうち、うてのるべであるくと。とくらひの同  
ひき。そぞりしき。まくとあくもやよゆきをうづけうちも柳。ふくらむとうちも  
そぞり。あくびの法。  
ひもじん

梅の花もまだ咲いてゐる。さうして、この梅の花がまた、

こもじやへ トちうふとうの  
あゆみをう ひらけとあつまへて。二

ちのあんとうひ。やまうとくを引く一首を、おとづらへ

あくもうちえ、あくかの著者  
モモ

とひく。かくは  
とひく。かくは



やうがふくろで。ひよこすみをもあひて。よとづりがあつちの  
よどと。うちも年暮のやつが、うへどんとて、うへは  
とかまくとよどとへよあかくせらむよあうけ。うへくわらひ  
ざんく。うどとをめうあうけ。道中あやア。ひよもあうとど  
だる。目ねぐらへ。轟きをもひれと見て。まくさかくそくへ  
りゆくじ。まくすごもが、そんうおあくあうへ。前あめく  
そのまどく。ひよくくらへ。ひ葉さらしのまく  
あくとがくと。がものやへてやるく。まくうせく。

さくらん子。さくらん。さくらんちがちのうくわへのごよ。サ  
ゆうけやせう。トこのふくろをひでる。かやその  
さくらんの宿ゆうべふ。に里ハ所ヒシカガ。ごく。ともひへ。とく  
たトカ。さくらん。さくらん。ア移ベテ。ひくさくももく。さくらん  
きめや。トひつあくと。さくらん。ア移ベテ。ひくさくももく。さく  
らんのさくらん。さくらん。ア移ベテ。ひくさくももく。さく  
らん。さくらん。さくらん。ア移ベテ。ひくさくももく。さく  
らん。さくらん。ア移ベテ。ひくさくももく。さくらん。ア  
移ベテ。ひくさくももく。さくらん。ア移ベテ。ひくさくももく。さく

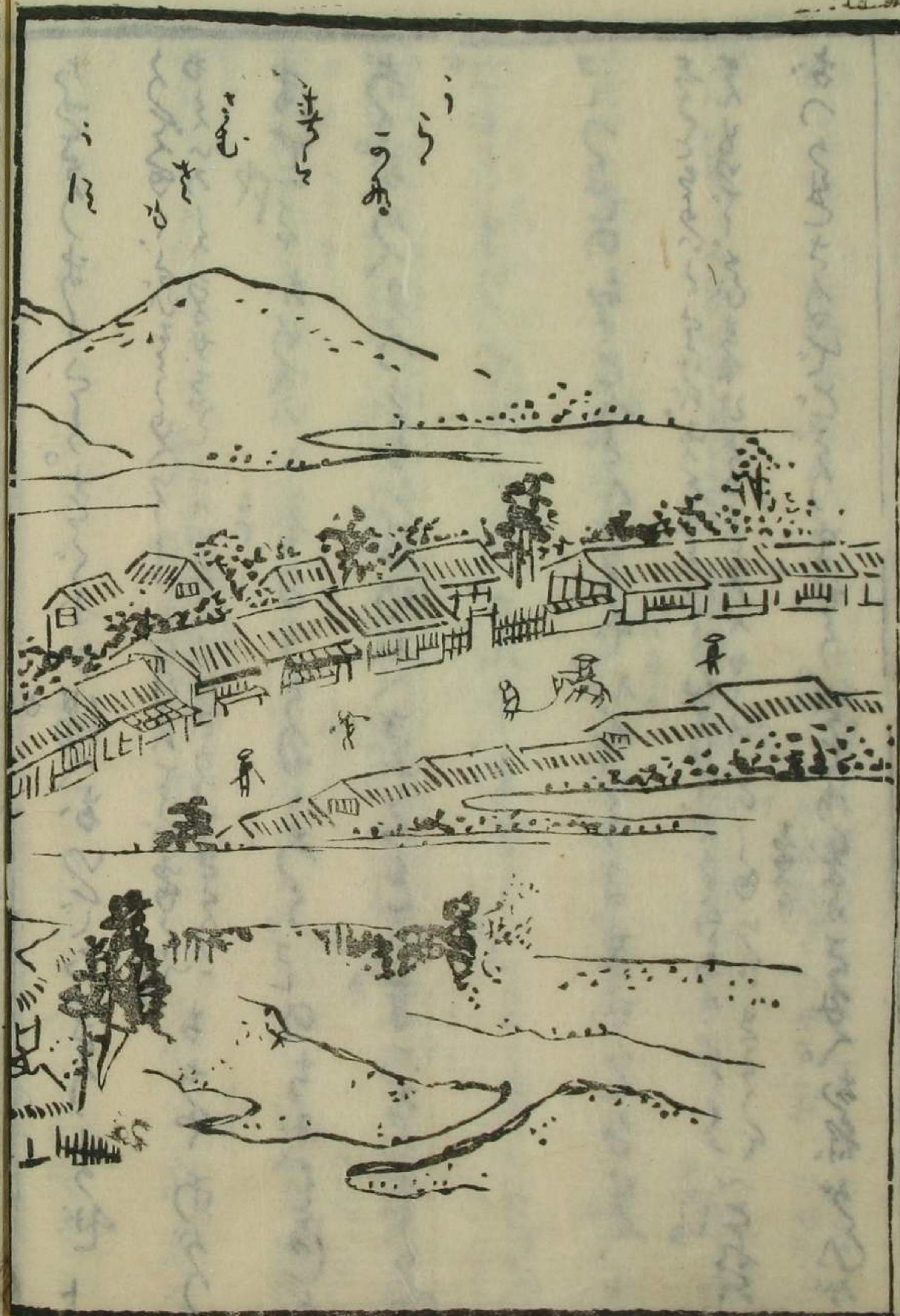
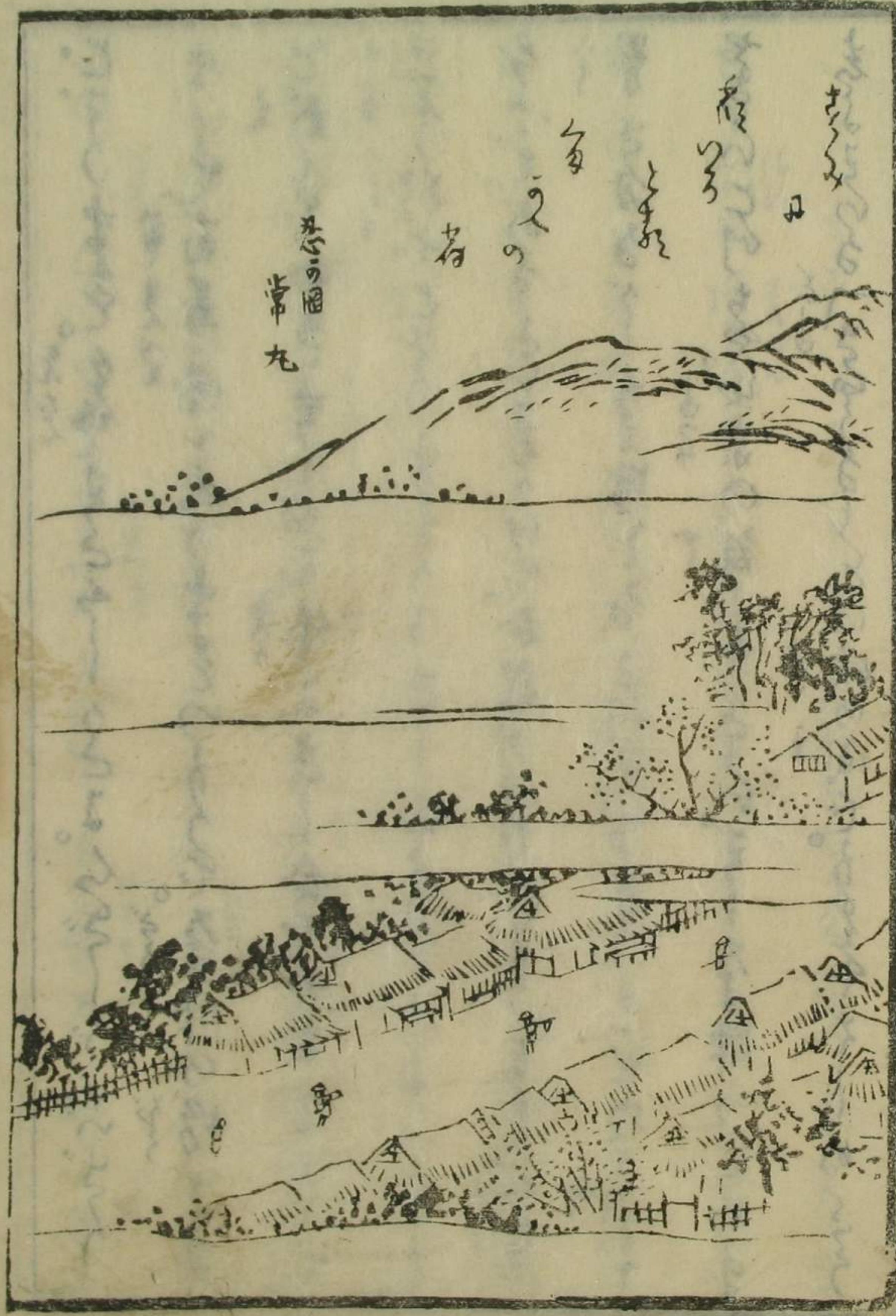
あと

まことに。さう小ち湯へおひたすら、またせん

もえいろとうさ。ちやーんぐわんよのせかくときまく。あちやあがう

あ。あくまでもちいさの雨き  
あくまでもちいさの雨き

～ラもくしまりともよアさんド まかくアシリヤ あくがく

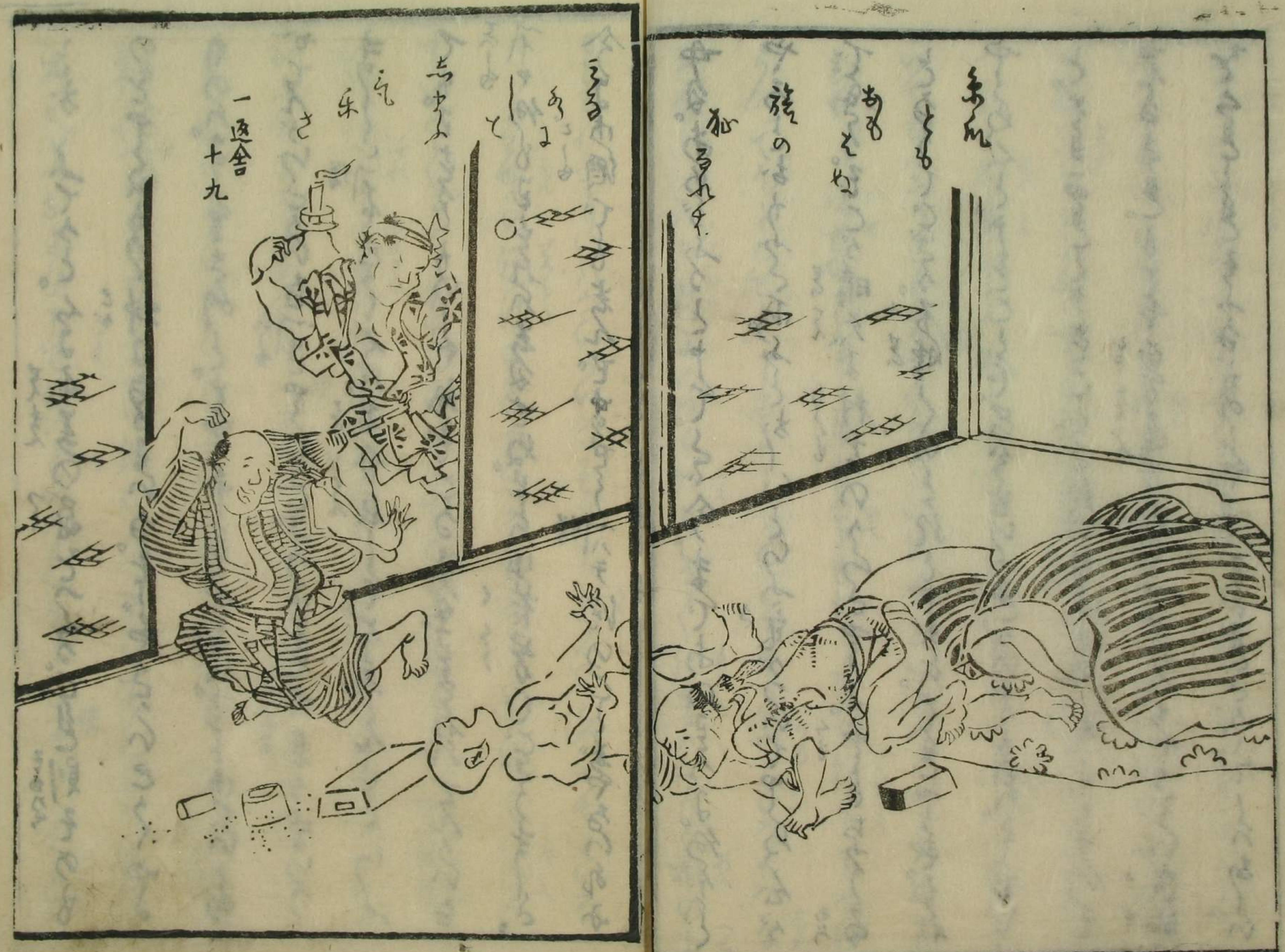


うかをコリヤ、あかくざくや。あやうきもうこいつす  
法 もがく  
さうナサゆふとよどみうやと。ゆゑをひきぬくも、きぐく  
あくのくちやまと トクシカヤく。もじ傍かうきづくコリヤくまい  
かやくとも布施ああああつゞく。やあうぞい。下 つきのまへゆく  
ま。袖そろびうぐく。つぎの日と夕方を。あきのものが、まよとよき。さくふ  
まくくうびりと。えひそんるふけ。さもまこ。ゆうげふく。  
うちゆ きくまくねどく。まくせくのゆ。ざくまく。ようせく。ふく  
見し。キンヘン。おはせ。男が会佛。テテ。生持取。看  
らもあくざく。おまくざアノ。うる  
まく まんづ  
がり。イヤとうそをゆすも近をど。おひくも高方五。をあくちも

ざくまく人ばかり。ちぢめ。二面あらうまへ。うるゝさんのはる  
よふ二百くと。あろぞ。そひ大きと。そく。やあう。ぞのう。ア  
そきと。ごも。ほのきの。ごく。けく。く。かせと。まく。ふせき  
わゆ。じやが。かはで。よそと。まよ。まひ。うの。そく。く。  
らと。ちや。アつま。袖の。かん。ど。の。ころ。ちや。よ  
りよ。てき。うそ。コレ。く。袖。まく。く。司。く。ちよ。じゆ。う  
傍。ひや。ミヤ  
ナシト。序。よ。教化。ひそ。か。かく。うそ。うそ。うそ。う  
そ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。うそ。う

う。あやうまへうるう月とて。ナチコスちも。独りひ  
やさしく。サヤく。也防きの仕様法がをじする。まことと  
まくまく。トよびもせが。もくとももだい。ごくももの  
をんをまど。ふやア耳がまく。うそうめぐれづん  
ゆるまい。ヨリヤ社田のむんをあとのも。もくちくづめま  
さく。コレく子こかくやうな。あうちへつけちやアト。みほ  
あうづく。うむあい。とづく。エシく。まも教化とす  
て。格のとどもどざくねが。もん中のもうきいとくと  
やさん。そく先叙あ。凡のあのそり。び。うきとせぐ。人を  
うづく。摩訶の一時。着い。い。復中とすて。尾  
とひくて。尾とま。不めうま。もじうのうじ。もうまで  
じがううのう。までも。佛能修。輪身をまく。もよ  
まぐく。雲とまく。ると。成。も體くのとれと。不とけの  
縁せうまく。佛よ。仏よ。心とそらへ能修とすて。  
まく。とく。とく。能修み。おげうく。かのと。もとまく  
じと。とく。能修み。おげうく。かのと。もとまく





一  
返  
舍  
十九

旗の

あ  
と  
り

あ  
れ

とあがめてうと。ふよ千まのゑとへる。どもと則ものも  
のとすぬかく。特よううむことひる。そよやさへいこくす  
りのれ。さうすまめと。もくすやうすやうす。ナシトはらひも  
がてんがくとくいも。さうじで。どぞうままと。食卓がまわ  
す。さうすやうす。お食卓うそと。どうぞうそと。うそ  
ても。こまくわゆ。やわらごとくうま。こまくわゆ。せんじゆ  
する。くうじゆ  
りやゆ。ひとりもくわらあるせぬ。そんに。お食卓で。どぞうま  
く。 いき  
ども

うるそひとつり。おめでどとお祝は後、よいよ  
望め  
司りやそんうととく。もうすく  
トあいそうも下り  
みげしもくさうれ  
もや。よぎくちうくをどぐの傍太きぬをひ  
ときて。ひとうつきうち。ざくまへくくと。こううとそえわうり牛  
傍  
えい  
あい  
アキ  
ゆひとうどふ  
あきらめく。コリヤ貴翁先生を生くも。かよ  
福くらむ。たまはくまくまくまく  
くそく

あんまり氣が生へまへとこゝもあまことぐまく。  
まくが私てとるそ。そんよごとじや、コリヤコの絲どころ  
がうい。そくみとのあう、もやあうとが。まくとくへト築  
きとさう<sup>築</sup>、ヨリヤギよども本がういき。ハテやんやうの奉<sup>ここ</sup>  
ことや。テシルテシルテントひこうと、あれらうらもまくふ  
築<sup>築</sup>、ヨリヤギうとじゆいきく。ソニアモ肩ごから。  
ヨリヤギとろがままで。ままでまんざら。あまか  
まくえかとアモテムんせ。ト築<sup>築</sup>のよぎの、  
まくえんと

渠  
可  
そんごとくとく。うるせえもうまうごト  
ありまみつは、  
どうじうぐがううを  
あがめとつま  
てもきあぐく<sup>修</sup>  
くもきあぐく、とうちやのあきのうぐと  
きとハのよきの中へもひとりが、まとハルとくね  
あうど。今やなさやへとくわが、くわがくわがく  
せのきもとあがひと。まびそくのもととくとく、  
ざえあがづけば。かわゆもよみひがわやうやとまよ。きかとつぞ  
そのまく。くわ  
もおきく。コリヤア、こくく  
あ。さとがんせ<sup>修</sup>あ  
あるところもく。  
モコリヤむ、とくとくまく。

トツハヨマニモテシテ  
ツヨコモセバセヤフ  
あくまがうとひのあり  
うき。往ちあひくよめにえみへうそのものども。きうけ。れどととやんと。  
あくうとこりて来てタケハ傳セキミハモ。ももむんひくうモ。さり  
之をあひての大そりぎよ。ほうまくもとびあがく。アラカヨシホト  
コリモタリ。ゲンシハコトス。今ハ。きけのゑひのもさや。やをびくさく  
あやまくえり。もととひ大正。ヒトタタタタタタ。ナガハ。もとひもくへ  
あくまとあくまふ。もと。もちまたあるもちう。タタタタ  
もちまた  
津安トあるかへて。ソビ。傳の

かくち血ひづく。二人ともまかう。うろが。躊躇づくとの  
うちまちよ。一瞬のこゑへさやて。鶴のとゑりぬとも示  
かすとみ。駄籠ア馬のひきくとまくと。ゆきくものや  
うふ。鷺もみのりのふ。あきらむとさあが。二人

とも同さむて。傍が門のふ端末と。かくすりてお  
ヨリひつ。そこへおまえきのぶ。この宿と云ひ出づ。

續藤栗毛十二編 上冊終



宣教

